

「令和6年度市報『広報かしま』作成業務委託」
企画提案書作成要領

この要領は、鹿島市が実施する「令和6年度市報『広報かしま』作成業務」（以下「本業務」という。）に関し、プロポーザルに参加しようとする者（以下「プロポーザル参加者」という。）が、企画提案書（以下「提案書」という。）を作成するために必要な事項を定めるものである。

プロポーザル参加者は、「令和6年度市報『広報かしま』作成業務 プロポーザル実施要領」を確認の上、この要領により、必要な書類を提出するものとする。

1 企画提案書

(1) 提案内容

- ① 別紙1「企画提案書提案事項一覧」の各提案項目について「令和6年度市報『広報かしま』作成業務委託仕様書」の趣旨に沿って提案すること。
- ② 提案は、全て提案書に記載すること。
- ③ 提案は1者につき1提案とし、提出後の変更・加筆は一切認めない。

(2) 様式

- ① 提案書は任意様式（表紙へ業者名、代表者名を記載すること）とするが、別紙1「企画提案書提案事項一覧」に記載された内容を満たすこと。
- ② 用紙は原則A4判両面使用とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- ③ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- ④ 見本作品は別紙1「企画提案書提案事項一覧」後段の「広報紙の見本作品について」のとおりとする。

2 見積書

- (1) 本業務の実施に要する費用の内訳（項目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書を提出すること。
- (2) 見積書は、提案書と別葉でA4版任意様式により作成し、封入すること。

3 実績書

- (1) 行政機関における概ね過去5年間の定期刊行物（自者で企画・編集を手がけたものに限る）発行実績を記載した実績書【様式3】を提出すること。
- (2) 刊行物のいずれかを参考書類として提出すること。

4 提案書等の提出部数・提出期限

- (1) 企画提案書 7部（正本1部、副本6部）

※見本作品についても7部（正本1部、副本6部）

令和6年2月29日（木） 17時までに提出

- (2) 実績書【様式3】 7部（正本1部、副本6部）

令和6年2月29日（木） 17時までに提出

- (3) 見積書 1部

令和6年3月6日（水） 審査会時に提出

企画提案書提案事項一覧

1. 基本方針・企画・内容

提案の概要・視点	審査基準
市民の市政への理解を深めることやシビックプライドの醸成という広報紙の目的を踏まえ、紙面構成及び情報発信のあり方等について考え方を整理すること。	【基本方針】 広報紙の目的と期待する効果を理解し、その実現に有効なコンセプト、構成になっていること。
	【訴求力】 デザインやレイアウトで市民の興味・関心を惹きつけるような工夫がされていること。
	【見やすさ】 文字や写真、イラスト等の色使いが適当で見やすい構成となっていること。
	【企画力】 特集やコーナー等、読者を拡大する工夫・楽しませる工夫がされていること。
	【その他特に評価すべき内容】 その他内容が優れ、特に評価すべき内容があること。

2. 業務の監理体制・制作体制

提案の概要・視点	審査基準
本業務を確実に実施・履行するための組織体制（業務の監理体制、制作の体系図等）を具体的に示すこと。また、情報の漏えいの防止・守秘義務を徹底する仕組みを示すこと。	【実施体制】 責任者・役割分担等が具体的に示され、本業務を確実に履行すると認められること。
	【業務工程】 作業ごとに開始・終了が明確にされ、計画的で無理のないスケジュールとなっていること。
	【作業の効率化】 オンライン校正の導入等、作業効率化への取組が行われていること。

【広報紙の見本作品について】

1 デザイン・レイアウト見本の作成	
2 記事作成等	
体裁 内容	A4 判, 4 ページ以上・4 色カラー ①「令和 6 年度市報作成及び印刷業務委託仕様書」の趣旨に沿って作成すること。 ②見本作品のテーマについては、別紙 2 を参照の上作成すること。なお、写真やイラスト等の資料は提供しないため、必要に応じてイメージ写真やラフデザインなどを使用すること。

市報「広報かしま」見本作品テーマ

テーマ		内容
表紙	鹿島市の広報紙にふさわしい ビジュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報かしま」であることがわかるようにすること (字体や表現については問わない「鹿島・Kashima」でも可) ・中面がわかるようにすること ・写真はデザイン性が高いものを採用すること
特集	災害に備えて	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月号 6ページ~7ページに掲載されている左記テーマについて、市民の市政への理解を深めることやシビックプライドの醸成という広報紙の目的などを踏まえ、紙面構成やデザインを検討し、提案すること *レイアウト、掲載情報量は自由とする *コーナーの表題についても提案すること *特集テキストの加筆修正は可とする
情報	見やすい情報コーナーの掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月号 23ページに掲載されている各情報について、市民へ見やすくかつ正確な情報を提供する目的を踏まえ、紙面構成やデザインを検討し、提案すること

災害に備えて

詳しくは 総務課防災係 ☎0954(63)2112

近年、局地的なゲリラ豪雨や梅雨末期の大雨により、大規模な洪水や土砂災害などが全国的に発生しています。鹿島市でも、一昨年の7月豪雨で多くの住家が損壊や浸水し、台風10号でも甚大な被害がありました。またいっしょのような状況になってもおかしくありません。

災害に備え、自宅や学校、職場周辺の状況を事前に確認し、早め早めの避難行動を心がけましょう。

●鹿島市防災マップで事前に確認を！

防災情報や各種ハザードマップは、各家庭に配布の『鹿島市防災マップ』に掲載しています。今後、災害情報に変更があった場合は、随時、市のホームページ等でお知らせします。



Web版は
こちらから
アクセスで
きます

日本語版
Japanese



英語版
English



事業所等で希望がある場合は、お渡ししますので、総務課防災係☎(63)2112までご連絡ください。



自主防災組織への活動支援について

市では、災害による被害を予防・軽減する活動を行うため、住民の皆さんが自主的に設置する自主防災組織の結成や活動の活性化を支援しています。

【自主防災組織への助成・補助の例】

- ◆ 組織結成時に世帯数に応じた設置助成金の支給
- ◆ 研修会や防災訓練など組織の活動に要する経費に対する補助金
- ◆ 消火器、メガホン、発電機など防災資機材の購入経費に対する補助金



【防災に関する講座】

自主防災組織の必要性や活動内容について、職員が希望会場へ出向いて地域の皆さんへ説明を行う『まちづくり出前講座』を実施しています。

自主防災組織が結成されている地域においても、住民への防災意識の普及や組織の役員向け研修会などにご活用ください。

【広告】佐賀地方気象台

大雨災害から大切な命を守ろう!

使おう! キキクル

大雨・洪水警報の危険度分布

佐賀地方気象台は、大雨の災害リスクの高まりを伝える『キキクル』（警報の危険度分布）のアニメーション動画を制作しました。

キキクル (気象庁ホームページ)

早めの避難を
心がけましょう!

●警戒レベル4『避難指示』で、危険な場所から必ず避難を！

令和3年5月20日、災害対策基本法が改正され、市町村が発令する避難情報の名称が変更となり、どのタイミングで避難すればいいのか分かりやすくなりました。

これまでの『避難準備・高齢者等避難開始』が『**高齢者等避難**』に簡略化、あわせて『避難勧告』が廃止され、『**避難指示**』となっています。

特に、警戒レベル4『**避難指示**』の発令で危険な場所にいる人は全員の避難が必要となりますので、災害発生が予測される場合は、早い段階から準備をし、すぐに避難できるよう普段から必要な防災用品など準備しておきましょう。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5『緊急安全確保』の発令を待ってはいけません。

避難勧告は廃止されています。これからは、警戒レベル4『避難指示』で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人などは、警戒レベル3『高齢者等避難』で危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 緊急安全確保※1 (市民の安全確保)	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## ●避難についてのお知らせ

鹿島市では大雨警報などが発令された場合、災害対策連絡室を設置し、気象庁などからの情報を基に、警戒レベルも踏まえながら災害対策本部へ移行、**段階的に避難場所を開設**しています。

避難場所の開設情報は防災無線や市のホームページなどでお知らせしますので、避難される際は情報にご注意ください。※避難の際、マスクや食糧、飲料水など必要なものはできるだけ各自で準備をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各避難場所では収容人数に制限があります。

防災マップで災害リスクを確認し、避難場所以外であっても自宅が安全な場合は『**在宅避難**』や、安全な場所にいる知人宅などに避難する『**縁故避難**』などの分散避難についても検討をお願いします。

避難場所の『**開設状況**』・『**混雑状況**』は  
こちら↓





**詳しくは** 鹿島市保健センター(エイブル 1階)  
☎0954(63)3373



## 献血にご協力ください

病院では大勢の患者さんが輸血を必要としています。愛の献血に温かいご協力をお願いします。

**と き** 3月24日(金) 9時30分～16時  
**と ころ** 生涯学習センターエイブル  
**対 象 者** 18歳～69歳の人  
※体重50kg以上で400ml献血可能な人、65歳から69歳までの人は60歳～64歳の間に献血経験のある人、その他条件があります。



## 3月1日～7日は『子ども予防接種週間』です

まだ受けていない予防接種はありませんか？もう一度、母子健康手帳を確認し、接種漏れがないように気をつけましょう。特に、4月からの入学・入園に備えて、必要な予防接種を済ませ、病気を未然に防ぎましょう。

子どもの予防接種は県内の医療機関での個別接種です。医療機関に直接お申し込みください。

- 定期予防接種の種類** ( )内は接種対象時期
- ◆BCG・B型肝炎(0歳児)
  - ◆麻しん・風しん(1期：1歳児・2期：年長児)
  - ◆ヒブ・小児用肺炎球菌(0歳～5歳未満)
  - ◆水痘(1歳～3歳未満)
  - ◆四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)・ポリオ(3か月～7歳6か月未満)
  - ◆日本脳炎(1期：生後6か月～7歳6か月・2期：9歳～13歳未満)
  - ◆二種混合(ジフテリア・破傷風)(11歳～13歳未満)
  - ◆ロタウイルス(ロタリックス：出生6週～24週、ロタテック：出生6週～32週)
  - ◆子宮頸がん(小学6年生～高校1年生相当年齢の女子)

※予防接種を受ける前に必ず『予防接種と子どもの健康』を読んで、対象年齢・接種回数など確認してください。また、今年度の『高齢者の肺炎球菌感染症予防接種』(定期接種)は3月31日までです。対象者で希望する人は3月中に接種してください。

## 令和5年度 人間ドック・脳ドック 健診の費用を一部助成します

市では、国民健康保険加入者の健康維持、病気の早期発見・早期治療などのために、ドック健診の費用を一部助成します。

- 対 象 者** 次の条件をすべて満たす人
- ◆昭和24年4月1日～平成5年3月31日生まれの人
  - ◆令和5年4月1日現在、鹿島市国民健康保険に加入している人
  - ◆国保税の滞納がない人
  - ◆脳疾患の既往・治療歴がない人(脳ドック希望者のみ)

**申込期間** 4月3日(月)～4月17日(月)  
市保健センターへ電話(63-3373、9時～17時：土・日を除く)またはホームページからお申し込みください。

※定員に達しない場合は随時受け付けます  
※審査後助成の可否を後日連絡します



**助 成 額** 20,000円 市HP申込み ⇨

- 定 員** 220人
- 受診医療機関**
- 織田病院(市内) ●志田病院(市内)
  - 犬塚病院(市内)
  - うれしのふくぞクリニック(嬉野市)
  - 新武雄病院(武雄市)
  - 樋口病院(嬉野市)
  - 高木病院(福岡県大川市)

## 中学3年生までのインフルエンザ予防接種費用助成のお知らせ

令和4年10月1日～令和5年1月31日の期間中に市内の実施医療機関と谷口医院(嬉野市)以外のかかりつけ医で接種した人は、申請により接種費用を助成します。申請がまだの人は手続きをお願いします。

**助成回数** 13歳未満：2回 13歳以上：1回  
**助成額** 1,000円/回  
**申請場所** 保健センター(エイブル1階)

**持 参 品** ①領収書 ②印鑑 ③通帳  
④接種済証または母子健康手帳  
**申請期限** 3月31日(金)